

でもありませんが、幼少な子はどうもいやがつて仕方がありません。そこで鼻汁を取るにも、只根からフン／＼と取除く事が出来ないで、只鼻孔にあつても外部にさへ出なければよい位な取方をする、格別子守や下女に預けておきますれば、ソレはソレは無責任な仕方をするのが多い。それで鼻孔は常に塞がつて居るといふ始末になり易い。其

御座いませんが、此の家庭にある幼児に影響する事も亦又甚しいので御座います。

私はよく子供が何も別に異状はないのに、やかましくねだつたり、何かしてむづかる事が御座いますのを見受けますが、大抵鼻孔が塞がつて居るに原因するのと知りまして、すぐ鼻孔を明けてやりますと快活になる事が御座います。

少しの注意や手數を厭ふて、鼻汁を孔にため、其の快活なる性情を不快に陥らしめ、甚しきは疾病の原因となりて、大事に至らしめる事さへないとは限りませんから、世の子を持たる、母親は、よく注意すべき事であらうと思ひます。殊に我が愛児を人手に預けらるゝ方は、十二分の注意が肝要であると存じます。

其れから今一つ脳に影響します事は、遂に己に皆様も御存じで、大きな勉強盛りの書生が、鼻を害して記憶力が減じたとかいふ事は、新紙之を傳へ、雑誌之を報じて、今更らしく申し上げる程の事も

ます。それからは比較的咽喉を痛める事が減じました。

家庭に於ける花壇

東京府農事試験場技手談
家庭に大仕掛けの花壇は一寸六ヶ敷い、それと云

ふのは實際試て見ると毛氈花壇には隨分花が入用なもので、とても五十株や百株では足りない、然し一位のものなら左したる事も無いから庭先などに設けて面白からう、普通地より五寸位の高さに土を積で周圍を芝で圍ふ、形は庭の模様にもよるし又各人の嗜好もあるから如何様とも、角形になり圓形なりそれは自由であるが、花の植付けは充分注意して色の配合を誤らぬ様にせねば見繁えがせぬ又成るべくは花で一の模様とか又はある形を現はす様にしたら面白からう。

▲今頃美しく花壇を飾て居る花は大抵秋播きのもの下温室で育てたものか又は球根類である、從て春の花壇は比較的に手數と費用が要るが、然し秋の花壇は容易に出来る、春の花で培養の樂なのは無論球根類でヒヤシンス、チューリップ、アネモネ、水仙等が主である、花壇の縁には雛菊が可いと思ふ、之れは宿根であるから、手數が要らぬ、又バンズデー等も面白い、それで春の花壇では此等の花を中心にして作れば隨分立派なものが出来る。

▲秋の花も昨今種子を下す頃であるが、大抵六七

月位から咲き初めて十月末位までは絶えず續いて咲くので、秋の花壇は中々賑かである、先づ素人に簡単に出来るのは百日草、葱ぞ菊、天人菊、貝細工、ペチニヤ、松葉牡丹、金魚草、美女櫻、葉鷄頭、サルビヤ、コスマス等で苗床に唯播いて置けば充分なもの許りである。

▲肥料は兎易面倒であるが、而し一二回施肥すると結果が非常に違ふから、是非夫れ丈けは必要である、素人に都合の可いのは油槽で、之れは日陰に水と交せて腐らして置いたものを使用ふ、唯一寸注意しなければならぬ事は種子の善惡で、普通草花の種子は一年以上も経過と發芽せぬから十分信用ある花屋から種子は買ひ入れる必要がある。

小鳥の話

穀

川

生

盆栽や園藝も樂しみな物ですが小鳥を養ふのは又この中に一種云ふ可からざる樂しみのあるもので